

パレスチナの危機から世界を眺める ～何が暴力を生み出しているのか

1948年に中東でイスラエルが建国されて以降、先住民のパレスチナ人の追放が続き、ついにジェノサイドという集団殺害まで引き起こしました。現地に住む人たちの声や経験を紹介しながら、この暴力の原因は何か、どうすれば食い止められるのか、一緒に考えていきます。

木曜日開講

13:30～15:00

- | | | |
|---|-------|-------------------|
| 1 | 7月10日 | パレスチナ問題の歴史 |
| 2 | 7月17日 | パレスチナのために市民ができること |

講師

金城 美幸

名古屋学院大学国際文化学部講師。

専門はパレスチナ地域研究。担当科目は開発社会経済論、平和学など。現在はパレスチナ難民が故郷の記憶をどう共有しているかについて研究しています。

講義の対象

興味のある方ならどなたでも

受講者へのメッセージ

連続した内容になりますので、2回とも受講してください。

パレスチナ問題についての気になる新聞報道があればお持ちください。

定員

20名

受講料

2,000円